

2023年度  
八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科  
募集要項・資格案内



八洲学園大学

## 目次

1. 2023 年度 募集定員・募集期間 .....	3
2. 出願から学修開始までの流れ .....	4
3. 八洲学園大学について(アドミッションポリシーなど) .....	5
4. 出願にあたっての確認・了解事項 .....	6
5. 出願資格(大学卒業を希望する方) .....	8
6. 出願資格(資格取得や科目履修のみを希望する方) .....	10
7. 出願資格(大学入学資格を有しない方) .....	11
8. 郵送で提出する証明書類 .....	12
9. ユーザー登録(ID 取得) 方法 .....	13
10. Web 出願書類の書き方 .....	13
11. 2023 年度 学事予定 .....	17
12. 開設授業科目 .....	20
13. 学費について .....	26
14. 資格案内 .....	27
図書館司書 .....	27
学芸員 .....	28
社会教育主事[任用資格](社会教育士) .....	29
社会福祉主事[任用資格] .....	30
学校図書館司書教諭 .....	31
学校図書館専門職養成プログラム(学校司書) .....	32
その他の資格取得支援 .....	34

### 出願に関するご相談・お問合せ先(入学支援相談センター)

e-mail:u-info@yashima.ac.jp TEL:045-410-0515 FAX:045-324-6961

〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42

(横浜駅徒歩 10 分・横浜市営地下鉄線高島町駅徒歩 1 分・京浜急行本線戸部駅徒歩 5 分)

【受付時間】平日 9:00~18:00・土日祝 9:00~17:00

# 1. 2023年度 募集定員・募集期間

## 募集定員（第1～4学期合計）

正科生（1年次入学）	正科生（編入学）	科目等履修生	特修生
800名	400名	若干名	若干名

## 募集期間

各出願締切日までに、入学志願書、作文、自己活動歴（以上、Web）と証明書類（郵送、p.12 参照）をご提出ください。

### 第1学期（4月入学）

回	出願開始日	～	出願締切日（必着）	合格発表日
第1回	1月5日（木）11:00	～	1月29日（日）23:59	2月1日（水）
第2回	1月30日（月）0:00	～	2月26日（日）23:59	3月1日（水）
第3回	2月27日（月）0:00	～	3月19日（日）23:59	3月22日（水）
第4回	3月20日（月）0:00	～	4月9日（日）23:59	4月12日（水）

※履修登録は3月6日（月）開始予定です（締切は科目による）。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。第4回はテキスト科目と5月以降のスクーリング科目が対象です（定員超過科目を除く）。

※入学金の納入最終期日は4月26日（水）です。

### 第2学期（7月入学）

出願開始日	～	出願締切日（必着）	合格発表日
5月9日（火）11:00	～	6月11日（日）23:59	6月14日（水）

※テキスト科目（第2学期3ヶ月コース）と7月以降のスクーリング科目が対象です（定員超過科目を除く）。

※入学金納入最終期日は6月28日（水）です。

### 第3学期（10月入学）

回	出願開始日	～	出願締切日（必着）	合格発表日
第1回	7月4日（火）11:00	～	7月30日（日）23:59	8月2日（水）
第2回	7月31日（月）0:00	～	8月27日（日）23:59	8月30日（水）
第3回	8月28日（月）0:00	～	9月17日（日）23:59	9月20日（水）
第4回	9月18日（月祝）0:00	～	10月8日（日）23:59	10月11日（水）

※履修登録は9月4日（月）開始予定です（締切は科目による）。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。第4回はテキスト科目と11月以降のスクーリング科目が対象です（定員超過科目を除く）。

※入学金の納入最終期日は10月25日（水）です。

### 第4学期（1月入学）

出願開始日	～	出願締切日（必着）	合格発表日
11月7日（火）11:00	～	12月3日（日）23:59	12月6日（水）

※テキスト科目（第4学期3ヶ月コース）と1月以降のスクーリング科目が対象です（定員超過科目を除く）。

※入学金納入最終期日は12月20日（水）です。

## 2. 出願から学修開始までの流れ

### 出願

①	必要事項の確認	アドミッションポリシーなど→ <a href="#">p.5-6</a> 出願にあたっての確認・了解事項→ <a href="#">p.6-7</a>
②	出願区分の決定	大学卒業を希望する方→ <a href="#">p.8-9</a> 資格取得や科目履修のみを希望する方→ <a href="#">p.10</a> 大学入学資格を有しない方→ <a href="#">p.11</a>
③	証明書類の準備	郵送で提出する証明書類→ <a href="#">p.12</a>
④	ユーザー登録 (ID 取得) (Web)	ユーザー登録 (ID 取得) 方法→ <a href="#">p.13</a>
⑤	「入学志願書」「作文」 「自己活動歴」提出 (Web)	Web 出願書類の書き方→ <a href="#">p.13-16</a>
	証明書類の提出 (郵送)	郵送で提出する証明書類→ <a href="#">p.12</a>

### 合格発表 合格発表日は p.3 でご確認ください。

⑥	合否結果の確認 (Web)	合否の結果はメールで通知します。
⑦	「合格通知書」受領	合格者には「合格通知書」を郵送します。

### 入学手続き 詳しくは合格発表後にメールでご案内します。オンラインの新生説明会も開催予定です。

⑧	入学金 (登録料) 納入	原則 1 週間以内に 20,000 円をご納入ください。 学費について→ <a href="#">p.26</a>
⑨	「入学許可証」受領	正科生…「入学許可証」「学生証」を郵送します。 科目等履修生・特修生…「入学許可証」を郵送します。

### 学修準備 詳しくは合格発表後にメールでご案内します。

⑩	履修登録 (Web)	最初の半年間 (または3ヶ月間) に履修する科目を登録してください。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。
⑪	学費納入	履修登録仮承認のメールに従って学費をご納入ください。 学費について→ <a href="#">p.26</a>
⑫	教科書購入	履修科目のシラバスを見て個別にご購入ください。 ※本学では販売していません。

### 学修開始!

### 3. 八洲学園大学について(アドミッションポリシーなど)

<b>生涯学習学部 の目標</b>	<p>本学部は、生涯学習とその支援についての研究を行い、その成果を生かした教育を通して、生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力を培い、その基盤となる豊かな人間性の育成を目標としています。</p>
<b>生涯学習学科 の目指す人材 養成</b>	<p>本学科は、生涯学習とその支援についての研究・教育を行い、企業・行政・施設・各種ネットワークなどで人々の学習を支援する専門的能力、それを支える人間力を培い、広く生涯学習支援を行う人材の養成を目指します。</p>
<b>アドミッショ ンポリシー (入学者受入 れ方針)</b>	<p>八洲学園大学生涯学習学部生涯学習学科では次のような学生を求めています。生涯学習学部生涯学習学科では、本学の建学の精神、教育の理念、使命・目的に共感し、生涯学習社会の実現に貢献しうる様々な経歴を持つ学生を国内外から幅広く受け入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性と生涯学習についての幅広い識見を基礎学力の上に養い、専門的な知識・技術を習得して、生涯学習社会の実現のために貢献しようとする意欲のある方。</li> <li>・生涯学習関係の国家資格(社会教育主事、司書、学芸員、司書教諭等)を取得し、生涯学習センター、公民館、図書館、博物館、学校等で専門性を生かして働こうとする方、学校支援等に関わって地域の教育に寄与しようとする意欲のある方。</li> <li>・マネジメント力(創造力、問題解決力、コミュニケーション力等)を培い、企業等において、新たな道を切り拓こうとする意欲のある方。</li> </ul>
<b>カリキュラム ポリシー(教 育課程の編成 方針)</b>	<p>生涯学習学部生涯学習学科では、本学の建学の精神、教育の理念、使命・目的に基づき、生涯学習社会の実現に貢献しうる人材を育成するため、下記の方針に基づきカリキュラムを編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>卒業時の到達目標</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習についての幅広い識見を身につけます。</li> <li>・生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力を身につけます。</li> <li>・これらの基盤となる豊かな人間性を身につけます。</li> </ul> </li> <li>2. <u>自ら主体的に学ぶ学生に合ったカリキュラム編成</u> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 科目区分は「基礎科目」と「専門科目」の2区分で構成し卒業要件を明確にします。</li> <li>(2) 「基礎科目」30単位以上、「専門科目」64単位以上の修得を卒業要件とすることにより、一つの領域に偏らない幅広い学修を可能とします。同時に、卒業要件の残り30単位は2区分から選択することにより自由度の高さを確保します。</li> </ol> </li> <li>3. <u>生涯学習を目的とした学生の多様な関心に応えるカリキュラム編成</u> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「基礎科目」は、学生が本学での学修を進めるにあたって、教養的・基礎的知識や基礎スキルを身につけることを目的とした科目により編成します。導入教育としての「初年次セミナー」をはじめとするアカデミックスキルを身につける科目、及び、「専門科目」で学修する準備として、教養的・基礎的知識や基礎スキルを身につける科目があります。「専門科目」は、学生が「基礎科目」で学修した知識やスキルを土台に、本格的な専門知識やスキルを幅広くより深く学修することを目的とした科目により編成します。「専門科目」は、下記3つの系の科目を開設します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①生涯学習支援系：生涯学習についての幅広い識見を養うため、生涯学習学、社会教育学、図書館情報学、博物館学に関する科目を開設します。同時に、必要な単位を修得することで、社会教育主事(任用)、図書館司書、学芸員の資格を取得できます。また、教員免許状取得等の条件を満たす方は学校図書館司書教諭の資格も取得できます。</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>

	<p>②生涯マネジメント系:生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力を養うため、法律・経済・経営・ビジネスに関する科目、及び、キャリア教育に関する科目を開設します。同時に、必要な単位を修得することで、税理士、簿記、行政書士等の資格取得にも役立ち、また、卒業後の進路を意識し自らのキャリアについて考え実現していく力を養います。</p> <p>③人間力創造系:豊かな人間性を養うため、文学・言語・歴史、宗教・倫理・哲学、教育・家庭・健康などの多様な領域に関する科目を開設します。学生が自らの生涯にわたって教養を高め、人間力を培えるように、多様な領域を網羅します。</p> <p>(2) 希望する学生を対象とした卒業論文関係科目を開設します。</p>
<b>ディプロマポリシー（学位授与の方針）</b>	<p>生涯学習学部生涯学習学科では、次のような素養を身につけ、かつ正科生として所定の期間在学し、卒業に必要な単位を修得した者に、学士（学術）の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習についての幅広い識見</li> <li>・生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力</li> <li>・これらの基盤となる豊かな人間性</li> </ul>

**個人情報の保護について**

出願書類は入学選考と在籍書類作成にのみ用います。本学の個人情報保護方針はウェブサイトでご確認ください。

個人情報保護方針 URL:

<https://www.yashima.ac.jp/univ/information/privacy.php>

## 4. 出願にあたっての確認・了解事項

<b>出願・入学手続時に関して</b>	<p>(1) 入学志願書・作文は必ず志願者本人が入力・記載してください。何らかのご事情により代理の方が入力・記載した場合には必ずその旨を備考欄に明記してください。</p> <p>(2) 入学志願書、作文、提出書類は理由の如何に関わらず、提出済データの返却・消去はいたしません。</p> <p>(3) 出願書類・入学手続書類に虚偽の内容が認められた場合には、合格・入学許可を取消すことがあります。</p> <p>(4) やむを得ず入学を辞退する場合は、速やかに入学支援相談センターにメールまたは文書にて入学辞退の旨を申し出てください。書式は問いません。なお、入学許可証や学生証を受領済みの場合は速やかに返還してください。</p> <p>(5) 入学金を所定の期日までに納入しない場合、入学を辞退したものとみなします。延納を希望する場合は必ず事前にご相談ください。</p> <p>(6) 納入された入学金および履修登録後の学費は理由の如何に関わらず返還いたしません。</p>
<b>本学での学修に関して</b>	<p>(7) 本学での手続き及び本学からの連絡は原則としてインターネットを通じて行われます。</p> <p>(8) 1日1回を目安にeラーニング・システムにログインし大学からの情報を確認する必要があります。</p> <p>(9) インターネットによる学修が可能ですが、スクーリング履修科目は時間割が定められており、本学が指定する日時に受講することを原則とします。</p> <p>(10) インターネットによる学修で卒業資格を得ることはできますが、全ての授業がインターネットで受講できるわけではありません。学芸員資格科目など、日本国内の機関での調査や実習が必要な科目もあります。</p>

	<p>(11) インターネットを通じて授業や試験を実施する関係上、本学が必要と認めた場合には電話・メール・WEBカメラ等による本人確認をする場合があります。</p> <p>(12) 本学での受講には文字・映像・音声による情報をご自身で理解いただく必要があります。点字・点訳、手話・ノートテイク、その他の介助等が必要な方は、各自でご用意ください。</p> <p>障がいのある方へ  <a href="https://www.yashima.ac.jp/univ/entrance/ra_support.php">https://www.yashima.ac.jp/univ/entrance/ra_support.php</a></p> <p>(13) 海外からの受講も可能ですが、授業はすべて日本語で実施されます。日本語能力についての予備教育はなく、翻訳などのサポートも実施しません。日本語が十分に理解できる必要があります。</p>										
<p>パソコン環境          に関して</p>	<p>(14) 大学からのパソコン貸与はありませんので、各自でご用意ください。また、以下は本学のシステムを正常にご利用いただくための推奨条件です。</p> <table border="1" data-bbox="523 734 1321 996"> <tr> <td>OS</td> <td>Windows10 以上／Mac OS X 10.13 以上</td> </tr> <tr> <td>ブラウザ</td> <td>GoogleChrome 最新版</td> </tr> <tr> <td>CPU</td> <td>Core i5 相当以上 (AMD Ryzen シリーズ等)</td> </tr> <tr> <td>メモリ</td> <td>4GB 以上</td> </tr> <tr> <td>通信環境</td> <td>光回線有線接続 (上り下り 10Mbps 以上) ※LAN ケーブルで接続</td> </tr> </table> <p>※Internet Explorer、Microsoft Edge、FireFox、Safari 等には対応していません。          [参考] GoogleChrome ダウンロード (無料)  <a href="https://www.google.com/intl/ja/chrome/">https://www.google.com/intl/ja/chrome/</a></p> <p>※スマートフォンやタブレット、Wi-Fi 環境での受講は動作保証外です。</p> <p>※お使いのインターネット回線、接続機器等やセキュリティの設定は様々であるため、上記の推奨環境を満たしていてもライブ受講等に支障をきたす場合がございます。インターネット接続等の質問についてはご契約のプロバイダや各種機器のサポートセンター等へお問い合わせください。</p> <p>※パソコンの動作不良等により受講ができなかった際の責任は負いかねます。</p> <p>※一部科目では Web 会議システム「Zoom」等を用いて授業を行う場合があります。その場合は、SOBA マナベルの推奨条件と合わせて内蔵または外付けの「マイク・WEB カメラ」もご準備いただきます。</p> <p>※システムは予告なく変更される場合がありますので、予めご了承ください。</p> <p>(15) パソコンを活用して学ぶには以下のパソコン操作ができるスキルが必要ですのでご注意ください。(ご本人でなくても以下のスキルを持ちパソコン操作を補佐してくれる方がいれば学修は可能です。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンを自分で起動・停止できる</li> <li>・インターネットブラウザで閲覧操作ができる</li> <li>・文書から他文書へコピーアンドペーストおよびドラッグアンドドロップで文字列を複製・移動できる。</li> </ul> <p>(16) 科目により、レポート提出に Microsoft Office が必要な場合があります。また、必須ではありませんが教材の印刷にプリンタがあると便利です。大学からの貸与はありませんので、各自でご用意ください。</p>	OS	Windows10 以上／Mac OS X 10.13 以上	ブラウザ	GoogleChrome 最新版	CPU	Core i5 相当以上 (AMD Ryzen シリーズ等)	メモリ	4GB 以上	通信環境	光回線有線接続 (上り下り 10Mbps 以上) ※LAN ケーブルで接続
OS	Windows10 以上／Mac OS X 10.13 以上										
ブラウザ	GoogleChrome 最新版										
CPU	Core i5 相当以上 (AMD Ryzen シリーズ等)										
メモリ	4GB 以上										
通信環境	光回線有線接続 (上り下り 10Mbps 以上) ※LAN ケーブルで接続										

## 5. 出願資格（大学卒業を希望する方）

### 正科生（1年次入学）

最終学歴が高校卒業程度で本学卒業を目指す方の出願区分です。

出願資格	
入学を希望する年の4月1日に満18歳に達し、かつ次の各号のいずれかに該当する方	
1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した方 2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した方 3. 通常の課程による12年の学校教育を修了した方 4. 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣が指定した方 5. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方 6. 文部科学大臣の指定した方 7. 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した方。または高等学校卒業程度認定試験に合格した方 8. その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方	

入学年次	卒業までの最短期間	在学できる最長期間	卒業要件単位数	取得できる学位
1年次	4年間	12年間	基礎科目 30単位 専門科目 64単位 自由選択科目 30単位 ※基礎科目または専門科目 合計 124単位（内スクーリング30単位以上）	学士 （学術）



## 正科生（学士取得編入学）

最終学歴が短期大学卒業等で本学卒業を目指す方の出願区分です。編入学年次と認定単位数は提出いただく証明書類に基づく個別審査にて決定します。

出願資格	編入学年次	認定単位数
入学を希望する年の4月1日に満18歳に達し、かつ次の各号のいずれかに該当する方		
1. 4年制大学を卒業した方 2. 4年制大学に3年以上在籍し74単位以上修得した方 3. 3年制短期大学を卒業した方 4. 専修学校の専門課程（修業年限が3年以上で当該課程の修了に必要な総授業時間が2,550時間以上の課程に限る）を修了し大学入学資格も有する方	3年次または4年次相当	最大90単位
5. 4年制大学に2年以上在籍し24単位以上修得した方 6. 2年制短期大学を卒業した方 7. 高等専門学校を卒業した方 8. 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で当該課程の修了に必要な総授業時間が1,700時間以上の課程に限る）を修了し大学入学資格も有する方 9. 旧国立工業教員養成所又は旧国立養護教諭養成所を卒業した方	3年次相当	最大60単位
10. 大学に1年以上2年未満在学し1単位以上修得した方	2年次相当	最大60単位

入学年次	卒業までの最短期間	在学できる最長期間	卒業要件単位数 (最大数の単位認定を受けた場合の例)	取得できる学位
2年次相当	3年間	9年間	基礎科目 10単位 専門科目 54単位 自由選択科目 0単位 合計 64単位(内スクーリング18単位以上)	学士 (学術)
3年次相当	2年間	6年間	基礎科目 10単位 専門科目 54単位 自由選択科目 0単位 合計 64単位(内スクーリング18単位以上)	
4年次相当	1年間	3年間	基礎科目 10単位 専門科目 24単位 自由選択科目 0単位 合計 34単位(内スクーリング12単位以上)	

## 6. 出願資格（資格取得や科目履修のみを希望する方）

本学で取得できる資格の学歴要件等は p.27-35 の資格案内をご覧ください。希望する資格の学歴要件を満たしている場合は、正科生（資格・リカレント編入学）または科目等履修生として入学し、最短期間での資格取得を目指せます。

### 正科生（資格・リカレント編入学）

教育訓練給付制度を利用しない方、他大学等に在籍中ではない方におすすめの出願区分です。卒業を目指す正科生と同じ支援等を受けられます。

出願資格	在学できる最長期間
正科生（学士取得編入学）と同じ（p.9 参照）	正科生（学士取得編入学）と同じ（p.9 参照）

### 科目等履修生

教育訓練給付制度を利用する方、他大学等に在籍中の方向けの出願区分です。

出願資格	在学できる最長期間
正科生（1 年次入学）と同じ（p.8 参照）	3 年間（延長可）

### 正科生（資格・リカレント編入学）と科目等履修生の違い

どちらの区分でも最短期間で資格取得を目指せます。また、学費は履修する科目によって決まるため、学生区分による差はありません。

	正科生（資格・リカレント編入学）	科目等履修生
教育訓練給付制度	×	○
他の学校に在籍しながら履修	△ 本学は二重学籍を禁止していないが、在籍中の学校が二重学籍を禁止している場合は×	△ 他大学に科目等履修生として在籍することを認めるか在籍中の学校に確認
多数の科目の履修	○	○
本学卒業（学士取得）	○ 卒業要件を満たす必要あり（詳細問合せ）	×
キャリアコーディネーター室の利用	○	△ キャリアカウンセリング、インターンシップの支援は受けられない
学生証	○	×
学割証明書・通学証明書	○ スクーリング科目履修等の条件あり	×
日本学生支援機構の奨学金	○ 応募要件を満たす必要あり	×

## 7. 出願資格（大学入学資格を有しない方）

### 特修生

最終学歴が中学卒業程度で本学への入学を希望する方の出願区分です。なお、特修生の課程を終了しても、高等学校卒業資格は取得できません。

出願資格
大学入学資格はないが本学が開設する授業科目を履修し得る能力があると認められる方で、特修生となることを希望する年の4月1日に満15歳に達している方（特修生規程に定める科目から16単位を修得し、入学を希望する年の4月1日に満18歳に達していれば、正科生（1年次入学）となる）
在学できる最長期間
3年間

### 特修生規定に定める科目

2022年5月時点の予定です。状況により変更する場合があります。

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期	履修方法
生涯学習論Ⅰ(生涯における学習設計)	2	T	基礎	12,000	4月・10月	8科目 16単位 を選択履修
生涯学習論Ⅰ(生涯学習の基本)	2	T	基礎	12,000	4月・10月	
図書館概論	2	T	基礎	12,000	4月・10月	
レポートの書き方入門	2	T	基礎	12,000	4月・10月	
生きる力のもとの探求	2	T	基礎	12,000	4月・10月	
万葉と日本人のこころ	2	T	基礎	12,000	4月・10月	
ビジネス・スキル 「折れない心とポジティブ・シンキング」	2	S	基礎	25,000	4月・10月	
心理学概論	2	S	基礎	25,000	4月	
テクノロジーの発達とヒューマニティ	2	S	基礎	25,000	4月・10月	
経済学入門	2	S	基礎	25,000	4月・10月	
プレゼンテーション概説	2	S	専門	25,000	4月・10月	
人間論	2	T	基礎	12,000	7月	
情報アクセシビリティとバリアフリーデザイン	2	S	基礎	25,000	10月	
資源環境と人間	2	S	専門	25,000	4月	
家族と法	2	S	基礎	25,000	10月	
省エネルギー概論	2	S	専門	25,000	10月	
仏教教育論	2	T	基礎	12,000	1月	

## 8. 郵送で提出する証明書類

最終学歴に応じた証明書類(原本)を郵送で提出してください(各出願締切日必着、コピー不可)。なお、厳封の必要はありません。また、証明写真を願書に添付しない場合は、合わせてご提出ください。

【送付先】〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42 八洲学園大学 入学支援相談センター

入学時点の最終学歴	郵送で提出する証明書類
高等学校卒業	卒業証明書 ※願書等の内容により成績証明書の提出を求める場合がある。 ※高校卒業予定の方は「卒業見込証明書」を提出。
大学卒業 短期大学卒業 高等専門学校卒業	①卒業証明書、及び②成績証明書 ※②は本学卒業を目的に単位認定を希望する方のみ提出。修得単位数が明記されたもの。 ※在学中の学校を卒業予定の方は「卒業見込証明書」を提出。
専修学校専門課程修了	①卒業(修了)証明書、及び②成績証明書 ※ <u>修業年限、および修得単位数または総授業時間数が明記された証明書であれば①②以外も可。</u> ②は単位認定を希望する方のみ提出。
大学院修了	①大学(学部)の卒業証明書、及び②大学(学部)の成績証明書 ※大学院の証明書は不可。②は修得単位数が明記されたもの(単位認定を希望する方のみ提出)。
大学中退	①高等学校の卒業証明書、及び②中退した大学の成績証明書 ※②に入学・退学年月日の記載がない場合は、在籍期間の証明書も必要。
短期大学中退 高等専門学校中退 専修学校専門課程中退	高等学校の卒業証明書
大学入学資格検定合格 高等学校卒業程度認定試験合格	①合格証明書、及び②合格成績証明書
中学校卒業	住民票(外国籍の方は住民票に準ずるもの) ※マイナンバー記載なしのもの。

※証明書は原則3ヶ月以内に発行したものを提出してください。

※証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍の個人事項証明書(戸籍抄本)も提出してください。

※専修学校の専門課程は、正科生(学士取得編入学)の出願資格(p.9)を満たす課程に限ります。

※外国の学校の証明書は、日本語または英語の証明書を提出してください。(他言語は不可)

※上記以外の最終学歴で出願資格を満たしている方は入学支援相談センターまでお問い合わせください。

※写真は下記条件に合った証明写真を1枚提出してください。(願書に添付する場合は郵送不要)

- ・正面向き、上半身、無帽、無背景、目元輪郭を隠していないもの
- ・裏面に氏名を記載
- ・直近3ヶ月以内に撮影したもの
- ・縦4cm×横3cmのカラー写真
- ・スナップ写真は不可

## 9. ユーザー登録 (ID 取得) 方法

本学ウェブサイト「出願受付」(<https://ygu.soba-project.com/public/application>) から登録します。



※ユーザー登録 (ID 取得) 後の自動メールが届かない場合は入学支援相談センターまでご連絡ください。  
 ※GoogleChrome をご利用ください。

## 10. Web 出願書類の書き方

※画面は全てイメージです。変更する場合があります。

### 出願画面 TOP

項目	説明	操作	状況	最終日時
入学志願書	氏名、住所等の情報を入力し、提出してください。証明写真の添付もできます。	<a href="#">履歴確認</a> <a href="#">履歴削除</a>	提出済	2022/5/10 11:09:49
作文	「八洲学園大学で何を学び、それをどう活かしたいか」をテーマに400字以上～800字程度で作成し、提出してください。	<a href="#">作文確認</a> <a href="#">作文削除</a>	提出済	2022/5/10 11:09:59
自己活動歴	学歴以外の学習歴、仕事歴、ボランティア歴、スポーツ・芸術・趣味などの活動歴を2件以上提出してください(最大5件)	<a href="#">活動確認</a> <a href="#">活動削除</a>	提出済	2022/5/10 11:10:22
証明書類・証明写真	入学支援相談センターまでご郵送ください。※必要書類は <b>審査要項</b> をご覧ください。		提出済	2022/5/10 11:10:48
合否結果	ご提出いただいた願書・作文・自己活動歴・出願書類をもとに入学選考を行います。合格者には「合格通知書」を郵送します。入学手続まについては、合格後にメールでご案内します。		第2学期回 審査済	

学校法人八洲学園 八洲学園大学 入学支援相談センター  
 〒220-0021 神奈川県横浜市西区保木町7丁目42番地  
 電話：045-410-0515 (平日9:00～21:30 / 土日祝 9:00～17:00)  
 問い合わせ：u-info@yashima.ac.jp

### 入学志願書

全 4 ページあります。ページごとに「一時保存」し「次へ」で進み、最後に「願書提出」します。

#### 1. 志願

① **志望学部【必須】**  
 選択不要

② **出願区分【必須】**  
 プルダウンで選択  
 正科生 (1 年次入学)  
 正科生 (学士取得編入学)  
 正科生 (資格・リカレント編入学)  
 科目等履修生  
 特修生

③ **下記いずれかを選択【必須】**  
 「制度/割引利用なし」  
 「教育訓練給付制度利用希望」  
 「シニア割引利用希望」

## 2. 個人情報

八洲学園大学 LMS [STAGING] soba-consider01

TOP / 随書作成

1. 志望 2. 個人情報 3. 学歴 4. 随書票

提出状況 編集  
一時保存 随書提出

戻る 次へ

**④ 氏名 (漢字) 【必須】**  
姓・名を漢字で入力

**⑤ 氏名 (フリガナ) 【必須】**  
姓・名をカタカナで入力

**⑥ 性別 【必須】**  
男または女を選択

**⑦ 生年月日 【必須】**  
西暦・月・日をプルダウンで選択

**⑧ 現住所 (漢字) 【必須】**  
郵便番号・都道府県・市区町村・ビル等を入力

**⑨ 連絡先 【必須】**  
電話番号  
携帯電話 (任意) 番号  
メールアドレスを入力

**⑩ 緊急連絡先 【必須】**  
電話番号を入力

**⑪ 職業 【必須】**  
プルダウンで選択

**⑫ 勤務先**  
社名・部課名等を入力

**⑬ 証明写真貼付**  
「ファイルを選択」をクリックし添付  
(スナップ写真不可・郵送で提出する場合は不要)

※携帯電話のみの方は電話番号欄に携帯電話の番号をご入力ください。

※ハイフンは不要

※ハイフンは不要

※ハイフンは不要

※ハイフンは不要

※ハイフンは不要

※ハイフンは不要

※ハイフンは不要

下記、条件に合ったものを「アップロード」してください。

- 正面向き、上半身、無帽、目元輪郭を隠していないもの
- 最近3ヶ月以内に撮影したもの
- タテ4cm×ヨコ3cmで撮影し、300dpiでスキャンしたもの

ファイルを選択 選択されていません

- 証明写真は、本人認証のほか、学生証 (正科生のみ) に使用します。
- 郵送の場合は、裏面に氏名を記入し、他の証明書類と一緒に送ってください。

### 3. 学歴

八洲学園大学 LMS [STAGING] soba-consider01

TOP / 履歴作成

1. 志望 2. 個人情報 3. 学歴 4. 調査票

提出状況: 未提出  
一時保存 履歴提出

戻る 次へ

**⑭最終学歴【必須】**  
プルダウンで選択

**⑮学歴【必須】**  
年月をプルダウンで選択  
学校名・学部学科専攻等を入力  
学校種別・項目をプルダウンで選択  
※正科生(1年次入学)及び特修生は、中学校卒業以降のすべての学歴を記入  
上記以外の方は高校卒業程度以降のすべての学歴を  
入学・卒業順に記入

必須 最終学歴

2000 年 1 月

学歴

高等学校 卒業

2000 年 1 月

学歴

2000 年 1 月

学歴

2000 年 1 月

学歴

提出状況: 未提出  
一時保存 履歴提出

戻る 次へ

TOP【出願手続き状況】へもどる

### 4. 調査票

八洲学園大学 LMS [STAGING] soba-consider01

TOP / 履歴作成

1. 志望 2. 個人情報 3. 学歴 4. 調査票

提出状況: 未提出  
一時保存 履歴提出

戻る

**⑯将来の目的・目指す資格**  
該当するものを選択

将来の目的・目指す資格

学士(大卒)  司書  学芸員  社会教育主事(任用)  社会福祉主事(任用)  司書教諭  学校図書館専門職養成プログラム  税理士(受験資格)

その他(記述)

**⑰家族構成**  
続柄・氏名を入力  
年齢・生年月日をプルダウンで選択

家族構成(任意入力)

続柄 続柄

氏名 氏名

年齢 年齢

生年月日 2000 年 1 月 1 日

家族通知

## 作文

「八洲学園大学で何を学び、それをどう生かしたいか」について、**400～800 字程度で入力してください**。字数が著しく少ない場合などは、再提出を求められることがあります。

提出状況：未提出  
一時保存 作文提出

### 課題

八洲学園大学で何を学び、それをどう生かしたいか

### 作成要領

- 資格取得目的の方は、予定している期間などできるだけ具体的な学習計画を書いてください。
- 400字以上～800字程度で作成してください。
- 「一時保存」をこまめにクリックするか、メモ帳などで作成した内容を転記することをおすすめします。

作文 400～800文字程度

作文

文字数：0

## 自己活動歴

入学志願書に記入した学歴以外の学習歴、仕事歴等を **2 件以上(最大 5 件)** 入力してください。

提出状況：未提出  
一時保存 活動歴提出

### 記入要領

- 朝華の学歴に記録した学校以外の学歴や仕事歴、ボランティア活動、スポーツ、芸術、趣味などの活動歴などのうち、主なものを2件以上記入してください。
- 活動歴は5件まで登録出来ます。
- 「学習・活動した年」が断続的であれば、そのことがわかるようにしてください。
- 「名称」は、正式名称が分からない場合は略称でかまいません。
- 「内容の概略」は、その学習や活動がどのようなものかわかるように書いてください。わかりにくい場合にはお尋ねすることがあります。

### 自己活動歴

名称	<input type="text" value="活動の名称"/>
活動年	2000 ~ 2000
概略	<input type="text" value="活動の概略"/>

活動歴追加

### 参考

学習・活動歴の例をあげておきますので、参考にしてください。これは例にすぎませんので、これ以外でもかまいません。

- 朝華の学歴に記録した学校以外の学習歴、学校外活動、読書・読書歴、遠征教育(遠征研修)、県民カレッジ、公民館・カルチャーセンター等の講座、スポーツクラブ、学校の開放講座、大学の公開講座、民間の各種カレッジ・塾・予備校、職業訓練施設での教育・訓練、企業研修、専攻での教育・訓練、民間の各種教室、セミナーの受講、学校での部活・クラブ・サークル活動、委員会活動、職業・職務経験(社名、部署名、具体的な職務内容) など
- 作品の記録：芸術、設計等の作品の展覧会、コンクール・コンペ等への出品、依頼作品の制作など(受賞があれば記載)
- 出場記録：スポーツ、芸術、芸能等の大会、コンクール等への参加、出場など(受賞があれば記載)
- ボランティア活動、専攻活動、地域活動：ボランティア活動、専攻活動、地域活動など(表彰、感謝状、広報紙等への功勞の掲載などがあれば記載)
- 国外での活動：留学、ワーキングホリデー、青年海外協力隊としての派遣活動、教養を深めるための海外訪問など

提出状況：未提出  
一時保存 活動歴提出



## 11. 2023 年度 学事予定

2022 年 5 月時点の予定です。変更する場合や、科目により異なる場合がありますので、学修開始前に必ず最新の学事予定表、時間割やシラバスをご覧ください。

### テキスト履修

#### ○半年コース

春期は第 1 学期(4 月)、秋期は第 3 学期(10 月)入学の方のみ履修できます。

学事予定	春期(第 1~2 学期)	秋期(第 3~4 学期)
履修登録開始	3 月 6 日(月)	9 月 4 日(月)
履修登録締切	4 月 19 日(水)	10 月 18 日(水)
第 1 回課題提出期間	5 月 12 日(金)~5 月 26 日(金)	11 月 10 日(金)~11 月 24 日(金)
第 2 回課題提出期間	6 月 15 日(木)~6 月 29 日(木)	12 月 15 日(金)~1 月 4 日(木)
科目修得試験レポート提出期間	7 月 18 日(火)~8 月 8 日(火)	1 月 22 日(月)~2 月 12 日(月祝)
成績発表	9 月 1 日(金)	3 月 1 日(金)

#### ○3ヶ月コース(第 1 学期/第 3 学期)

春期は第 1 学期(4 月)、秋期は第 3 学期(10 月)入学の方のみ履修できます。

学事予定	春期(第 1 学期)	秋期(第 3 学期)
履修登録開始	3 月 6 日(月)	9 月 4 日(月)
履修登録締切	3 月 29 日(水)	9 月 27 日(水)
第 1・2 回課題提出期間	4 月 11 日(火)~5 月 9 日(火)	10 月 10 日(火)~11 月 7 日(火)
科目修得試験レポート提出期間	5 月 24 日(水)~6 月 6 日(火)	11 月 22 日(水)~12 月 5 日(火)
成績発表	6 月 16 日(金)	12 月 15 日(金)

#### ○3ヶ月コース(第 2 学期/第 4 学期)

学事予定	春期(第 2 学期)	秋期(第 4 学期)
履修登録開始	3 月 6 日(月)	9 月 4 日(月)
履修登録締切	6 月 21 日(水)	12 月 20 日(水)
第 1・2 回課題提出期間	7 月 11 日(火)~8 月 8 日(火)	1 月 9 日(火)~2 月 6 日(火)
科目修得試験レポート提出期間	8 月 23 日(水)~9 月 5 日(火)	2 月 22 日(水)~3 月 6 日(火)
成績発表	9 月 15 日(金)	3 月 15 日(金)

### スクーリング履修

#### ○平日・半年コース

春期は第 1 学期(4 月)、秋期は第 3 学期(10 月)入学の方のみ履修できます。

学事予定	春期(第 1~2 学期)	秋期(第 3~4 学期)
履修登録開始	3 月 6 日(月)	9 月 4 日(月)
履修登録締切	3 月 29 日(水)	9 月 27 日(水)
授業開始	4 月 3 日(月)~4 月 7 日(金)	10 月 2 日(月)~10 月 6 日(金)
最終試験レポート提出期間	7 月 22 日(土)~8 月 8 日(火)	1 月 27 日(土)~2 月 12 日(月祝)
成績発表	9 月 1 日(金)	3 月 1 日(金)

○平日(週2)半年コース

春期は第1学期(4月)、秋期は第3学期(10月)入学の方のみ履修できます。

学事予定	春期(第1~2学期)	秋期(第3~4学期)
履修登録開始	3月6日(月)	9月4日(月)
履修登録締切	4月19日(水)	10月18日(水)
授業開始	5月8日(月)~5月12日(金)	11月6日(月)~11月10日(金)
最終試験レポート提出期間	各授業終了後~約1.2週間	各授業終了後~約1.2週間
成績発表	9月1日(金)	3月1日(金)

○平日・3ヶ月コース(第1学期/第3学期)

春期は第1学期(4月)、秋期は第3学期(10月)入学の方のみ履修できます。

学事予定	春期(第1学期)	秋期(第3学期)
履修登録開始	3月6日(月)	9月4日(月)
履修登録締切	3月29日(水)	9月27日(水)
授業開始	4月3日(月)~4月7日(金)	10月2日(月)~10月6日(金)
最終試験レポート提出期間	各授業終了後~約1.2週間	各授業終了後~約1.2週間
成績発表	6月16日(金)	12月15日(金)

○平日・3ヶ月コース(第2学期/第4学期)

学事予定	春期(第2学期)	秋期(第4学期)
履修登録開始	3月6日(月)	9月4日(月)
履修登録締切	6月21日(水)	12月20日(水)
授業開始	7月3日(月)~7月7日(金)	1月8日(月祝)~1月12日(金)
最終試験レポート提出期間	各授業終了後~約1.2週間	各授業終了後~約1.2週間
成績発表	9月15日(金)	3月15日(金)

○週末(第1学期/第3学期)

春期は第1学期(4月)、秋期は第3学期(10月)入学の方のみ履修できます。

学事予定	春期(第1学期)	秋期(第3学期)
履修登録開始	3月6日(月)	9月4日(月)
履修登録締切	各開講2週間前	各開講2週間前
土日1期	4月8,9,15,16日(土・日)	10月7,8,14,15日(土・日)
土日2期	4月22,23,29,30日(土・日)	10月21,22,28,29日(土・日)
土曜1期	4月8,15,22,29日(土)	10月7,14,21,28日(土)
日曜1期	4月9,16,23,30日(日)	10月8,15,22,29日(日)
土日3期	5月6,7,13,14日(土・日)	11月4,5,11,12日(土・日)
土日4期	5月20,21,27,28日(土・日)	11月18,19,25,26日(土・日)
土曜2期	5月6,13,20,27日(土)	11月4,11,18,25日(土)
日曜2期	5月7,14,21,28日(日)	11月5,12,19,26日(日)
最終試験レポート提出期間	各授業終了後~約1.2週間	各授業終了後~約1.2週間
成績発表	6月16日(金)	12月15日(金)

○週末(第1~2学期/第3~4学期)

学事予定	春期(第1~2学期)	秋期(第3~4学期)
履修登録開始	3月6日(月)	9月4日(月)
履修登録締切	各開講2週間前	各開講2週間前
土日5期	6月3,4,10,11日(土・日)	12月2,3,9,10日(土・日)
土日6期	6月17,18,24,25日(土・日)	12月16,17,23,24日(土・日)
土曜3期	6月3,10,17,24日(土)	12月2,9,16,23日(土)
日曜3期	6月4,11,18,25日(日)	12月3,10,17,24日(日)
土日7期	7月1,2,8,9日(土・日)	1月6,7,13,14日(土・日)
土日8期	7月15,16,22,23日(土・日)	1月20,21,27,28日(土・日)
土曜4期	7月1,8,15,22日(土)	1月6,13,20,27日(土)
日曜4期	7月2,9,16,23日(日)	1月7,14,21,28日(日)
最終試験レポート提出期間	各授業終了後~約1.2週間	各授業終了後~約1.2週間
成績発表	9月1日(金)	3月1日(金)

○夏期(第2学期)/冬期(第4学期)

学事予定	春期(第2学期)	秋期(第4学期)
履修登録開始	3月6日(月)	9月4日(月)
履修登録締切	各開講2週間前	各開講2週間前
1期	8月10日(木)~8月12日(土)	2月13日(火)~2月15日(木)
2期	8月14日(月)~8月16日(水)	2月17日(土)~2月19日(月)
3期	8月18日(金)~8月20日(日)	2月21日(水)~2月23日(金)
4期	8月22日(火)~8月24日(木)	2月25日(日)~2月27日(火祝)
5期	8月26日(土)~8月28日(月)	なし
最終試験レポート提出期間	各授業終了後~約1.2週間	各授業終了後~約1.2週間
成績発表	9月15日(金)	3月15日(金)

## 12. 開設授業科目

2022年5月時点の予定です。状況により変更する場合があります。また、春期のみまたは秋期のみ開講の科目もあります。

※休講する場合があります。必ず履修する期の履修登録シミュレーション(シラバス)をご確認ください。

授業科目	単位	形態	学費
基礎科目			
初年次セミナー	1	S	12,500
レポートの書き方入門	2	T	12,000
生涯学習論Ⅰ(生涯における学習設計)	2	T	12,000
生涯学習論Ⅰ(生涯学習の基本)	2	T	12,000
生涯学習論Ⅱ(生涯学習の支援・推進)	2	T	12,000
生涯学習支援論Ⅰ(生涯学習の構造理解と実践サポート)	2	T	12,000
生涯学習支援論Ⅱ(生涯学習支援の展開)	2	T	12,000
図書館概論	2	T	12,000
図書・図書館史	1	T	6,000
経済学入門	2	S	25,000
ビジネス・スキル「折れない心とポジティブ・シンキング」	2	S	25,000
ビジネス・スキル「自分を受け入れる力」	2	S	25,000
法学概論	2	S	25,000
家族と法	2	S	25,000
日本国憲法と現代社会	2	S	25,000
はじめて学ぶ刑法総論	2	T	12,000
社会と安全入門	2	T	12,000
子どもの問題行動と非行	2	T	12,000
テクノロジーの発達とヒューマニティ	2	S	25,000
万葉と日本人のこころ	2	T	12,000
人間論	2	T	12,000
仏教教育論	2	T	12,000
禅学研究Ⅰ	1	T	6,000
禅学研究Ⅱ	1	T	6,000
情報アクセシビリティとバリアフリーデザイン	2	S	25,000
障害児の理解と支援	2	S	25,000
生きる力のもとの探求	2	T	12,000
心豊かに語り合える親子コミュニケーション	2	T	12,000
学校教育概論(教育原理・教職論)	2	S	25,000
学校教育概論(教育心理)	1	S	12,500
学校教育概論(教育課程)	1	S	12,500
心理学概論	2	S	25,000
日本史入門	2	T	12,000
地理学入門	2	T	12,000
社会思想史Ⅰ(市民革命から近代へ)	2	S	25,000
社会思想史Ⅱ(20世紀の社会思想)	2	S	25,000

専門科目			
生涯学習支援系			
生涯学習論			
情報化と学習支援A(地域学習支援情報の収集・提供)	1	T	6,000
情報化と学習支援B(学習成果の活用と地域学習支援情報の提供)	1	T	6,000
読み聞かせと生涯学習	2	S	25,000
博物館教育と社会教育	2	T	12,000
学校、家庭、地域の連携協力論	2	T	12,000
社会教育学			
社会教育経営論1	2	T	12,000
社会教育経営論2	2	T	12,000
社会教育課題研究A	1	T	6,000
社会教育課題研究B	2	T	12,000
社会教育学新構想(演習)	2	S	25,000
社会教育実習	1	RS	12,500
図書館情報学			
図書館制度・経営論	2	T	12,000
図書館情報技術論	2	T	12,000
図書館サービス概論	2	T	12,000
情報サービス論	2	T	12,000
児童サービス論	2	T/S	12,000/ 25,000
情報サービス演習1	2	S	25,000
情報サービス演習2	2	S	25,000
図書館情報資源概論	2	T	12,000
情報資源組織論	2	T	12,000
情報資源組織演習1	2	S	25,000
情報資源組織演習2	2	S	25,000
図書館サービス特論	2	T	12,000
図書館基礎特論	1	T	6,000
学校経営と学校図書館	2	T	12,000
学校図書館メディアの構成	2	T	12,000
学習指導と学校図書館	2	T	12,000
読書と豊かな人間性	2	T	12,000
情報メディアの活用	2	T	12,000
学校図書館情報サービス演習	2	S	25,000
学習活動支援特論	2	S	25,000
児童資料特論	2	T	12,000
ヤングアダルト資料特論	2	T	12,000
読書教育特論	2	T	12,000
博物館学			
博物館概論	2	T	12,000
博物館経営論	2	S	25,000
博物館資料論	2	T	12,000

博物館資料保存論	2	T	12,000
博物館展示論	2	T	12,000
博物館教育論	2	T	12,000
博物館情報・メディア論	2	T	12,000
博物館実習	3	RS	37,500
博物館学特論	2	S	25,000
生涯マネジメント系			
ビジネスマネジメント			
ビジネス理論			
財政学入門	2	S	25,000
地方財政入門	2	T	12,000
簿記と経営	2	T	12,000
原価計算入門	2	T	12,000
経理実務入門	2	T	12,000
ビジネス実践			
企業倫理	2	T	12,000
ビジネス・リーダーシップ論	2	T	12,000
CSRと経営戦略	2	T	12,000
ビジネス文書作成・読解	2	S	25,000
知的資産マネジメント	2	T	12,000
コンプライアンス概論	2	S	25,000
顧客サービス・マネジメント	2	T	12,000
生産管理	2	T	12,000
はじめての簿記	1	T	6,000
社会保険労務(入門)	2	T	12,000
社会保険労務(実務)	2	T	12,000
顧客ロイヤルティ・マネジメント	2	T	12,000
組織行動論	2	T	12,000
モノづくりと問題解決	2	S	25,000
産業・組織心理学	2	T	12,000
ビジネスと法律			
労働法	2	T	12,000
行政法	2	T	12,000
商法	2	T	12,000
ケーススタディ著作権法	2	S	25,000
パラリーガル(法律事務職員)の実務～入門編～	2	S	25,000
法人税法入門	2	T	12,000
所得税法入門	2	T	12,000
消費税法	2	T	12,000
相続税法	2	T	12,000
論述力・思考力			
論理的思考Ⅰ(数学的思考と発想)	2	S	25,000
論述カス技能(アカデミック・ライティング)	2	S	25,000
速読の理解と実践	2	S	25,000

プレゼンテーション概説	2	S	25,000
マインドマップを使った効率的な学習ノート作成	2	S	25,000
思考と学習に役立つ読書技術	2	T	12,000
世界の中の日本語と日本人	2	S	25,000
生活マネジメント			
生活と法律			
消費生活と法	2	S	25,000
民法1(総則・物権)	2	S	25,000
民法2(債権法)	2	S	25,000
著作権法	2	T	12,000
情報と法	2	S	25,000
はじめて学ぶ刑法各論	2	T	12,000
はじめて学ぶ刑事訴訟法	2	T	12,000
はじめて学ぶ裁判員制度	2	T	12,000
福祉と法	2	T	12,000
法と心理入門	2	T	12,000
犯罪と心理	2	T	12,000
事例から学ぼう犯罪と心理	2	T	12,000
法社会学	2	T	12,000
刑事政策	2	T	12,000
少年法入門	2	T	12,000
社会保障論	2	T	12,000
児童福祉論	2	T	12,000
家庭福祉論	2	T	12,000
災害復興法学入門	2	T	12,000
生活と科学			
省エネルギー概論	2	S	25,000
資源環境と人間	2	S	25,000
水資源概論	2	S	25,000
楽しいホームページの制作	2	S	25,000
楽しいWebアニメーション	2	S	25,000
初歩のプログラミング入門	2	S	25,000
PC実践スキル～Wordを使いこなす～	1	S	12,500
PC実践スキル～Excelを使いこなす～	1	S	12,500
情報技術と社会～資格取得も視野に～	2	T	12,000
キャリア教育			
ビジネス・スキル「聴く力で人間関係を改善する」	2	S	25,000
ビジネス・スキル「状況判断と決定力」	2	S	25,000
ビジネス・スキル「コンフリクト・マネジメント 対立を超えて」	2	S	25,000
ビジネス・スキル「目標設定と継続力」	2	S	25,000
ビジネス・コミュニケーションスキル	2	S	25,000
キャリアデザイン1	2	S	25,000
キャリアデザイン2	2	S	25,000
社会人基礎力ー仕事をする人から仕事ができる人へー	2	S	25,000

キャリア・ディベロップメント	2	T	12,000
人間力創造系			
文学・言語・歴史			
漢字と心の形	2	T	12,000
笑い文化	2	S	25,000
民話と県民性	2	T	12,000
昔話と道徳	2	T	12,000
道徳の探求	2	T	12,000
敗者の人生と文学	2	S	25,000
人生の諸相と文学	2	S	25,000
俳句と俳文Ⅰ	2	S	25,000
俳句と俳文Ⅱ	2	S	25,000
異文化理解入門ー現代世界を読み解くー	2	S	25,000
はじめての文化人類学	2	T	12,000
社会学概論	2	T	12,000
ツーリズムと社会(観光社会学入門)	2	T	12,000
死生学(グリーンケア入門)	2	T	12,000
作家と作品	2	S	25,000
遣唐使僧円仁の旅日記	2	S	25,000
文化とメディアの社会学	2	T	12,000
自然災害史論	2	T	12,000
宗教・倫理・哲学			
人間と宗教	2	T	12,000
社会と宗教(宗教社会学入門)	2	T	12,000
経済人類学入門(集団と組織の中の人間)	2	T	12,000
倫理学	2	S	25,000
明日の一步・松下幸之助に学ぶ人生哲学	2	S	25,000
わたしの人生 新渡戸稲造の人生哲学に学ぶ	2	S	25,000
ブッダの探求	2	T	12,000
ものの見方・考え方	2	S	25,000
生命の倫理	2	S	25,000
日本思想史概説	2	S	25,000
教育・家庭・健康			
逆境を生きる	2	S	25,000
生老病死と村社会	2	T	12,000
生徒指導・進路指導論	2	T	12,000
学校経営・教育行政論	2	T	12,000
教育制度論	2	T	12,000
障害児の子育てとつつけ	2	S	25,000
不登校・ひきこもり特講	1	S	10,000
医学一般	2	S	25,000
武道文化概論	2	T	12,000
幼児教育の原理	2	T	12,000
子どもとスポーツ	2	T	12,000



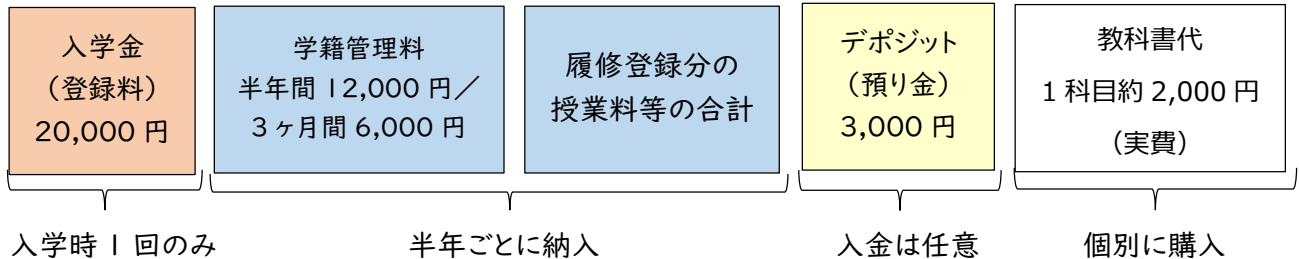
幼児教育・保育の歴史	2	T	12,000
幼児教育・保育制度の現代的課題	2	T	12,000
子どもの遊びと文化A	2	T	12,000
子どもの遊びと文化B	2	T	12,000
情報社会と教育	2	T	12,000
精神保健福祉	2	T	12,000
高齢者福祉論	2	T	12,000
障害者福祉論	2	T	12,000
生活に役立つ心理カウンセリングⅠ	2	S	25,000
生活に役立つ心理カウンセリングⅡ	2	S	25,000
学校教育カリキュラム実践論	2	T	12,000
教育者のための法学入門	2	T	12,000
子どもと人権	2	T	12,000
社会心理学概論	2	S	25,000
臨床心理学概論	2	S	25,000
英語で学ぶ心理学キーワード	2	T	12,000
観光心理学	2	S	25,000
現代社会と大学	2	T	12,000
高等教育アドミニストレーション概論～大学の教育・経営を学ぶ～	2	S	25,000
教育時事論～教育問題を考える～	2	S	25,000
教育からみる人物史～偉人に学ぶ教育観～	2	T	12,000
スポーツと教育	2	T	12,000
武道・武術に学ぶ教育論	2	T	12,000
はじめて学ぶ犯罪社会学	2	T	12,000
世界の防犯入門	2	T	12,000
芸術・美術・造形			
子供の絵画表現と美術様式	2	S	25,000
近代西洋美術の表現様式と鑑賞	2	S	25,000
造形要素から捉えた発想方法と鑑賞・演習	2	S	25,000
日本陶磁器(焼き物)の表現と鑑賞	2	S	25,000
ポピュラー音楽論	2	S	25,000
特別講義			
特別研究	2	T	12,000
特別講義	1	S	12,500
卒業論文関係			
卒業研究演習	2	GR	25,000
卒業論文	4	G	37,000

※T:テキスト履修、S:スクーリング履修、RS:レポートスクーリング履修、GR:卒業研究演習、G:卒業論文。  
科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。

## 13. 学費について

### 学費のしくみ（単位従量制授業料）

半年ごとに履修する科目に応じて学費が決まります。



※デポジットとは、証明書発行手数料などに充てる預り金です。初学期に 3,000 円を課金します(入金は任意)。ご入学後、随時 1,000 円単位で入金できます。残額は卒業や学修終了時に返金します(振込手数料がかかります)。

※演習科目は、「演習・実習料」がかかる場合があります。シラバスをご覧ください。

※実習科目は、別途費用がかかります(保険加入・書類送料(計 1,000 円前後)+実習費(金額は施設による))。デポジットより引き落とします。

### 納入方法

コンビニ振込(または銀行振込)にてお支払いいただきます。詳しくは合格発表後にメールでご案内します。

### 学費提携教育ローン（授業料等の分割払いサービス）

学費を提携業者(株式会社オリエントコーポレーション)が学生に代わって学校側に立て替え、学生は提携業者に毎月分割で支払うサービスです。科目等履修生も利用できます。

### 奨学金（日本学生支援機構）

正科生でスクーリング履修中の学生が対象の、貸与型の奨学金です(無利子と有利子あり、併用可)。夏季(5月頃)と冬季(11月頃)の年2回募集します(年1回どちらかのみ利用可)。

### シニア割引

50~59歳が対象のシニアコース(109,000円)と、60歳以上が対象のプラチナコース(99,000円)があります(上記図の「履修登録分の授業料等の合計」部分の金額)。

※半年ごとにお申込が必要です(学生支援センターに連絡)。

※単位を修得できず再履修する場合、その科目の学費が改めてかかります(単位修得までを保証するものではありません)。

※2026年度から「シニアコース(55歳以上の方)」のみに変更します。ご注意ください。

### 教育訓練給付制度

科目等履修生(正科生は利用不可)で、図書館司書/学芸員/学校図書館司書教諭の資格取得に必要な全単位を原則1年間で修得した方が対象です。教育訓練経費(上記図の「入学金(登録料)」+「履修登録分の授業料等の合計」)の20%相当額(上限10万円)が厚生労働省から給付されます。

※シニア割引との併用はできません。

## 14. 資格案内

### 図書館司書

図書館司書は、公共図書館、大学図書館、専門図書館や学校図書館(学校司書)等で、資料の選択、発注、受入や、分類、目録作成、市民の情報ニーズに対応したサービス業務全般、読書推進活動等を行う専門的職員です。本学で図書館司書の全要件科目の単位を修得した方には、「司書資格証明書」を発行いたします(有料)。

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
短大卒 大卒	半年～	15科目 28～29単位	・「情報サービス演習」は先に「図書館概論」「情報サービス論」を、「情報資源組織演習」は先に「情報資源組織論」を、履修すると良い。 ・他大学等で単位修得できなかった科目のみなど1科目から履修できる。

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期	履修方法	図書館法施行規則で定める科目名
生涯学習論Ⅰ(生涯における学習設計)	2	T	基礎	12,000	4月・10月	選択	生涯学習概論
生涯学習論Ⅰ(生涯学習の基本)	2	T	基礎	12,000	4月・10月	必修	
図書館概論	2	T	基礎	12,000	4月・10月	必修	図書館概論
図書館制度・経営論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館制度・経営論
図書館情報技術論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館情報技術論
図書館サービス概論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館サービス概論
情報サービス論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	情報サービス論
児童サービス論	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	児童サービス論
	2	S	専門	25,000	4月・10月	必修	
情報サービス演習Ⅰ	2	S	専門	25,000	4月・7月・ 10月・1月	4単位 必修	情報サービス演習
情報サービス演習Ⅱ	2	S	専門	25,000			
図書館情報資源概論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館情報資源概論
情報資源組織論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	情報資源組織論
情報資源組織演習Ⅰ	2	S	専門	25,000	4月・7月・ 10月・1月	4単位 必修	情報資源組織演習
情報資源組織演習Ⅱ	2	S	専門	25,000			
図書館基礎特論	1	T	専門	6,000	4月・7月・ 10月・1月	2科目 以上選 択必修	図書館基礎特論
図書館サービス特論	2	T	専門	12,000	4月・10月		図書館サービス特論
図書・図書館史	1	T	基礎	6,000	4月・10月		図書・図書館史

※T:テキスト履修、S:スクーリング履修。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。

※演習科目では別途、データベース利用料等を徴収する場合があります。詳細はシラバスをご確認ください。

※スクーリング履修の開講日程は資格別時間割をご覧ください。

<https://www.yashima.ac.jp/univ/about/ely/timetable2.php>

## 学芸員

学芸員は、総合博物館、科学博物館、歴史博物館、美術館、動物園、水族館、植物園等で、博物館資料の収集、保管、展示、調査研究その他関連する業務を行う専門的職員です。学芸員資格を取得するだけでなく、就職を希望する施設に応じた専門知識を身につけると良いでしょう。本学で学芸員の全要件科目の単位を修得した方には、「学芸員資格証明書」を発行いたします(有料)。

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
学士 (大卒) 以上	1年～	9科目 19単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「博物館実習」は、実習以外の8科目16単位を本学で修得後でないとい履修できない。</li> <li>・「博物館実習」以外は、他大学等で単位修得できなかった科目のみなど1科目から履修できる。</li> <li>・第1学期(4月入学)または第3学期(10月入学)から学修を開始できる。</li> </ul>

科目名	単 位	形 態	科目 区分	学費 (円)	履修開始 時期	履修 方法	博物館法施行規則で定 める科目名
生涯学習論Ⅰ(生涯における学習設計)	2	T	基礎	12,000	4月・10月	選択	生涯学習概論
生涯学習論Ⅰ(生涯学習の基本)	2	T	基礎	12,000	4月・10月	必修	
博物館概論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館概論
博物館経営論	2	S	専門	25,000	4月・10月	必修	博物館経営論
博物館資料論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館資料論
博物館資料保存論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館資料保存論
博物館展示論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館展示論
博物館教育論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館教育論
博物館情報・メディア論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	博物館情報・メディア論
博物館実習	3	RS	専門	37,500	4月・10月	必修	博物館実習

※T:テキスト履修、S:スクーリング履修、RS:レポートスクーリング履修。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。

※実習には別途、費用が必要です(①保険加入・書類送料 計 1,000円前後、②実習費(施設で異なる)など)。

※スクーリング履修の開講日程は資格別時間割をご覧ください。

<https://www.yashima.ac.jp/univ/about/ely/timetable2.php>

## 社会教育主事〔任用資格〕（社会教育士）

社会教育主事は、教育委員会の事務局等で、社会教育行政の企画・実施、専門的技術的助言、自主的な学習活動の側面的援助、地域の生涯学習を推進するコーディネート等を行う専門的職員です。社会教育関係の施設職員、指導員、生涯学習アドバイザー等で活躍する際にも有利な資格（任用資格）です。資格要件を満たした時点で「社会教育士」を称することができます。

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
短大卒以上	1年～	13～14科目 24単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の職務経験が必要（詳細は文部科学省サイト）。</li> <li>・2019年度までの旧要件科目との読み替えに関する詳細は要問合せ。</li> <li>・「社会教育実習」は、★印の6科目12単位を本学で修得後でないといふ履修できない。</li> </ul>

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期	履修方法	社会教育主事講習等規程で定める科目名
生涯学習論Ⅰ(生涯における学習設計)★	2	T	基礎	12,000	4月・10月	選択必修	生涯学習概論
生涯学習論Ⅰ(生涯学習の基本)★	2	T	基礎	12,000	4月・10月		
生涯学習論Ⅱ(生涯学習の支援・推進)★	2	T	基礎	12,000	4月・10月		
生涯学習支援論Ⅰ(生涯学習の構造理解と実践サポート)★	2	T	基礎	12,000	4月・10月	4単位必修	生涯学習支援論
生涯学習支援論Ⅱ(生涯学習支援の展開)★	2	T	基礎	12,000	4月・10月		
社会教育経営論Ⅰ★	2	T	専門	12,000	4月・10月	4単位必修	社会教育経営論
社会教育経営論Ⅱ★	2	T	専門	12,000	4月・10月		
情報化と学習支援A(地域学習支援情報の収集・提供)	1	T	専門	6,000	7月・1月	計8単位以上必修	社会教育特講
情報化と学習支援B(学習成果の活用と地域学習支援情報の提供)	1	T	専門	6,000	7月・1月		
学校、家庭、地域の連携協力論	2	T	専門	12,000	4月・10月		
読み聞かせと生涯学習	2	S	専門	25,000	4月・10月		
博物館教育と社会教育	2	T	専門	12,000	4月・10月		
社会教育実習	1	RS	専門	12,500	4月・10月	1単位必修	社会教育実習
社会教育学新構想(演習)	2	S	専門	25,000	4月	計3単位以上必修	社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究
社会教育課題研究A	1	T	専門	6,000	4月・10月		
社会教育課題研究B	2	T	専門	12,000	4月・10月		

※T:テキスト履修、S:スクーリング履修、RS:レポートスクーリング履修。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。

※実習には別途、費用が必要です(①保険加入・書類送料 計 1,000円前後、②実習費(施設で異なる)など)。

※スクーリング履修の開講日程は資格別時間割をご覧ください。

<https://www.yashima.ac.jp/univ/about/ely/timetable2.php>

## 社会福祉主事〔任用資格〕

社会福祉主事は、福祉事務所現業員として任用される者に要求される資格（任用資格）で、社会福祉施設職員等の資格に準用されています。社会福祉各法に定める援護または更生の措置に関する事務を行うために、福祉事務所には必置義務があります（福祉事務所のない町村は任意設置）。具体的には、福祉事務所の現業員、査察指導員、老人福祉指導主事、家庭児童福祉主事、家庭相談員、母子相談員、各種相談所の知的障害者福祉司、身体障害者福祉司、児童福祉司、社会福祉施設長、生活指導員等があります。

科目・単位数	注意点
3科目6単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正科生として入学した大学で3科目6単位以上を修得し卒業する（最終学歴が短大卒以上の方も、本学を卒業する必要がある）。</li> <li>・第1学期（4月入学）または第3学期（10月入学）から学修を開始できる。</li> </ul>

科目名	単位	形態	科目区分	学費（円）	履修開始時期	履修方法	厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目
社会保障論	2	T	専門	12,000	4月・10月	3科目以上を選択履修 ※民法は2科目で1科目分	社会保障論
児童福祉論	2	T	専門	12,000	4月・10月		児童福祉論
家庭福祉論	2	T	専門	12,000	4月・10月		家庭福祉論
障害者福祉論	2	T	専門	12,000	10月		身体障害者福祉論
精神保健福祉	2	T	専門	12,000	4月・10月		精神保健福祉
高齢者福祉論	2	T	専門	12,000	4月・10月		老人福祉論
法学概論	2	S	基礎	25,000	4月		法学
民法Ⅰ（総則・物権）	2	S	専門	25,000	4月		民法
民法Ⅱ（債権法）	2	S	専門	25,000	10月		
行政法	2	T	専門	12,000	10月		行政法
心理学概論	2	S	基礎	25,000	4月		心理学概論
社会学概論	2	T	専門	12,000	4月		社会学概論
倫理学	2	S	専門	25,000	4月		倫理学
医学一般	2	S	専門	25,000	10月		医学一般

※T:テキスト履修、S:スクーリング履修。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。

## 学校図書館司書教諭

学校図書館司書教諭は、教員として学校図書館業務を担当する際に必要な国家資格です。すでに教員免許取得済、もしくは取得予定の方が対象です。なお、教員ではなく学校図書館の専門職員として雇用される「学校司書」とは異なります。

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
短大卒以上 + 教員免許状	半年～	5科目 10単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得には教員免許状（養護教諭、栄養教諭は除く）が必要。</li> <li>・他大学等で単位修得できなかった科目のみなど1科目から履修できる。</li> <li>・「司書教諭講習修了証書」交付をもって正式に資格取得となる。</li> <li>・第1学期（4月入学）または第3学期（10月入学）から学修を開始できる。</li> </ul>

科目名	単 位	形 態	科目 区分	学費 (円)	履修開始 時期	履修 方法	学校図書館司書教諭講習 規程で定める科目名
学校経営と学校図書館	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	学校経営と学校図書館
学校図書館メディアの構成	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	学校図書館メディアの構成
学習指導と学校図書館	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	学習指導と学校図書館
読書と豊かな人間性	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	読書と豊かな人間性
情報メディアの活用	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	情報メディアの活用

※T:テキスト履修、S:スクーリング履修。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。

「司書教諭講習修了証書」について

5科目10単位修得後、本学から東京学芸大学を通して文部科学省へ申請し、「司書教諭講習修了証書」が交付されて初めて有資格者となります（申請手数料がかかります）。申請期間は毎年1回（7月～8月頃）のみのため、学修を終了した時期により、修了証書交付までの期間が異なります。申請方法などは入学後にご案内します。なお、修了証書交付までの期間は、本学発行の「学校図書館司書教諭資格科目単位修得・成績証明書」（有料）により資格取得要件を満たしていることを証明できます。

学修を終了した時期	申請時期	修了証書交付時期
春期末（9月）	翌年7月～8月頃	翌々年3月中旬頃
秋期末（3月）	同年7月～8月頃	翌年3月中旬頃

## 学校図書館専門職養成プログラム（学校司書）

学校司書としてスキルアップを目指したい方、学校図書館への就職を考えており学校図書館に関する基礎的な知識を学びたい方、教員・ボランティア等の立場から学校図書館の現状や課題について学びたい方、学校教育全般に関心のある方におすすめてです。希望者には本学独自の修了証を発行いたします（有料）。なお、他大学等で単位修得した科目がある場合は、読替科目が確認できる証明書の提出が必要です（詳細問合せ）。

### 基礎プログラム

文部科学省が定める「学校司書のモデルカリキュラム」に対応したプログラムです。図書館司書資格をベースに学ぶため、図書館司書資格取得後の履修を強く推奨しますが、本プログラムのみの履修も可能です。

#### 【基礎プログラムの目標】

学校図書館専門職として、以下の知識・技能を持った人材の育成を目標とします。

- (1) 学校図書館の運営・管理・サービスに必要な基礎的な知識、技能を有していること
- (2) 児童生徒に対する教育支援に必要な基礎的な知識、技能を有していること
- (3) 他の教職員と協働しながら、学校図書館運営を行おうとする意欲を持っていること

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
短大卒 大卒	半年～	13科目 24単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・☆は図書館司書科目と共通。ただし平成29(2017)年度までの科目や他大学の科目との読替ができない科目もあるので注意（詳細問合せ）。</li> <li>・★は学校図書館司書教諭科目と共通。読替可。</li> </ul>

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期	履修方法	モデルカリキュラムにおける科目名
学校経営と学校図書館★	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	学校図書館概論
図書館情報技術論☆	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館情報技術論
図書館情報資源概論☆	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	図書館情報資源概論
情報資源組織論☆	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	情報資源組織論
情報資源組織演習1☆	2	S	専門	25,000	4月・7月・ 10月・1月	4単位 必修	情報資源組織演習
情報資源組織演習2☆	2	S	専門	25,000			
図書館サービス特論☆	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	学校図書館サービス論
学校図書館情報サービス演習	2	S	専門	25,000	4月・10月	必修	学校図書館情報サービス論
学校教育概論(教育原理・教職論)	2	S	基礎	25,000	4月・10月	4単位 必修	学校教育概論
学校教育概論(教育心理)	1	S	基礎	12,500	7月・1月		
学校教育概論(教育課程)	1	S	基礎	12,500	7月・1月		
学習指導と学校図書館★	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	学習指導と学校図書館
読書と豊かな人間性★	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	読書と豊かな人間性

※T:テキスト履修、S:スクーリング履修。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。



## 応用プログラム

「学校図書館専門職養成 基礎プログラム」で身につけた知識・技能を基礎とし、学校図書館専門職の立場から学校教育の発展に貢献し、自らの実践や研究を学校内外に発信することができる、高い専門性を持った人材の育成を目指します。基礎プログラム修了者を主な対象としますが、1科目から履修できます(科目によっては履修条件が定められています)。

### 【応用プログラムの目標】

学校図書館専門職養成 基礎プログラムで習得した知識、技能に加え、学校図書館専門職として、以下の知識、技能を兼ね備えた人材の育成を目標とします。

- (1) 児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、学校教育の充実に貢献し得る専門的知識、技能を有していること
- (2) 学校における図書館活用教育、読書教育の充実に貢献しうる専門的知識、技能を有していること
- (3) 学校図書館が抱える課題について深い問題意識を持ち、その課題に対して論理的、実践的に解決し得る知識、技能を有していること
- (4) 学校図書館の発展のために積極的に行動する意欲を持ち、自らの実践を学校内外に発信するための知識、技能を有していること

学歴要件	最短期間	科目・単位数	注意点
短大卒 大卒	1年～	計10科目20単位以上(必修5科目10単位+選択必修2科目4単位+選択3科目6単位以上)	基礎プログラム修了後に修了した方のみ修了証が発行される。

科目名	単 位	形 態	科目 区分	学費 (円)	履修開始 時期	履修 方法	備考
学校教育カリキュラム実践論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	学校教育に 関する科目
臨床心理学概論	2	S	専門	25,000	4月	必修	
生徒指導・進路指導論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	
情報と法	2	S	専門	25,000	4月	選択	
ケーススタディ著作権法	2	S	専門	25,000	10月	必修	
障害児の理解と支援	2	S	基礎	25,000	4月	選択	
情報アクセシビリティとバリアフリーデザイン	2	S	基礎	25,000	10月	必修	
教育からみる人物史～偉人に学ぶ教育観～	2	T	専門	12,000	4月	選択	
学校経営・教育行政論	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	
教育者のための法学入門	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	
学習活動支援特論	2	S	専門	25,000	10月	必修	学校図書館に 関する科目
読書教育特論	2	T	専門	12,000	4月・10月	必修	
読み聞かせと生涯学習	2	S	専門	25,000	4月・10月	選択	
学校、家庭、地域の連携協力論	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	
児童資料特論	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	
ヤングアダルト資料特論	2	T	専門	12,000	4月・10月	選択	
特別研究(学校図書館学Ⅰ)	2	T	専門	12,000	4月	選択	
特別研究(学校図書館学Ⅱ)	2	T	専門	12,000	10月	選択	

※T:テキスト履修、S:スクーリング履修。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。

## その他の資格取得支援

科目名は2022年5月時点の予定です。状況により変更する場合があります。

※T:テキスト履修、S:スクーリング履修。科目ごとに定員があり先着順で締め切ります。

### 税理士(「受験資格」科目対応)

企業等の経理や総務で働く方のスキルアップも目的とし、会計のエキスパートの輩出を目指します。

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期	受験資格
経済学入門	2	S	基礎	25,000	4月・10月	1科目 2単位以上 必修
財政学入門	2	S	専門	25,000	4月・10月	
法人税法入門	2	T	専門	12,000	4月・10月	
所得税法入門	2	T	専門	12,000	4月・10月	
消費税法	2	T	専門	12,000	7月	
相続税法	2	T	専門	12,000	10月	
法学概論	2	S	基礎	25,000	4月	
民法1(総則・物権)	2	S	専門	25,000	4月	
民法2(債権法)	2	S	専門	25,000	10月	
はじめて学ぶ刑法総論	2	T	基礎	12,000	4月・10月	
はじめて学ぶ刑法各論	2	T	専門	12,000	4月・10月	
商法	2	T	専門	12,000	7月	
行政法	2	T	専門	12,000	10月	
労働法	2	T	専門	12,000	1月	

### 行政書士

企業法務や相続手続きなど実務経験豊富な教員が担当し、実例から分かりやすく学べます。ビジネスパーソンの方のスキルアップも目的とします。

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期
日本国憲法と現代社会	2	S	基礎	25,000	4月
法学概論	2	S	基礎	25,000	4月
民法1(総則・物権)	2	S	専門	25,000	4月
民法2(債権法)	2	S	専門	25,000	10月
家族と法	2	S	基礎	25,000	10月
行政法	2	T	専門	12,000	10月
商法	2	T	専門	12,000	7月
情報と法	2	S	専門	25,000	4月

### 簿記

日商簿記2級~3級レベルの学習に役立つ科目です。

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期
はじめての簿記	1	S	専門	12,500	4月
簿記と経営	2	T	専門	12,000	4月・10月
原価計算入門	2	T	専門	12,000	4月・10月
経理実務入門	2	T	専門	12,000	10月

## キャリアコンサルタント

キャリアコンサルタント(国家資格)の学習に役立つ科目です。

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期
社会保険労務(実務)	2	T	専門	12,000	4月
キャリア・ディベロップメント	2	T	専門	12,000	10月

## 公務員試験対策

必須の「法学概論」「民法」「行政法」「日本国憲法」を網羅しています。職種により労働法と商法が必要です。

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期
法学概論	2	S	基礎	25,000	4月
日本国憲法と現代社会	2	S	基礎	25,000	4月
行政法	2	T	専門	12,000	4月・10月
家族と法	2	S	基礎	25,000	10月
民法1(総則・物権)	2	S	専門	25,000	4月
民法2(債権法)	2	S	専門	25,000	10月
商法	2	T	専門	12,000	7月
はじめて学ぶ刑法総論	2	T	基礎	12,000	4月・10月
はじめて学ぶ刑法各論	2	T	専門	12,000	4月・10月
刑事政策	2	S	専門	12,000	4月・10月
犯罪と心理	2	S	専門	12,000	4月・10月
はじめて学ぶ裁判員制度	2	T	専門	12,000	4月・10月
法社会学	2	T	専門	12,000	4月・10月
労働法	2	T	専門	12,000	1月

## 社会保険労務士

社会保険や年金、企業における労務管理の基礎知識と、労務管理を中心とする実務的な専門知識の習得を目指します。

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期
社会保険労務(入門)	2	T	専門	12,000	10月
社会保険労務(実務)	2	T	専門	12,000	4月
労働法	2	T	専門	12,000	1月
生産管理	2	T	専門	12,000	10月

## ビジネス・キャリア検定

ビジネス・キャリア検定は、職務を遂行する上で必要となる知識の習得と実務能力の評価を行うことを目的とした中央職業能力開発協会主催の試験です。

科目名	単位	形態	科目区分	学費(円)	履修開始時期
社会保険労務(入門)	2	T	専門	12,000	10月
社会保険労務(実務)	2	T	専門	12,000	4月
キャリア・ディベロップメント	2	T	専門	12,000	10月
生産管理	2	T	専門	12,000	10月

お気軽にお問い合わせください

---

## 八洲学園大学 入学支援相談センター

e-mail:u-info@yashima.ac.jp

TEL:045-410-0515 FAX:045-324-6961

〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42

【受付時間】平日 9:00~18:00・土日祝 9:00~17:00

<https://www.yashima.ac.jp/univ/>



 [https://twitter.com/yashima\\_univ](https://twitter.com/yashima_univ)

 <https://www.facebook.com/yashimagakuenuniv>

(2022年8月発行)